# シルク博物館令和６年度年報

シルク博物館

令和７年６月

# シルク博物館令和６年度年報

目次


**１　ごあいさつ** 1

**２　建物の概要** 2

**３　令和６年度のおもな出来事** 2

**４　事業** 3

(1)　展示 3

ア　常設展示

イ　春の企画展　シルク博物館所蔵品展「花嫁衣装―晴れの日の模様と彩り―」

ウ　秋の特別展　「型が奏でるリズムと色彩―型絵染８人展」

(2)　教育普及『チャレンジ！かいこプログラム』 5

ア　第１弾　蚕種配布

イ　第２弾　かいこ教室

ウ　第３弾　団体利用・ワークショップ

エ　第４弾　たのしいかいこの発表会

(3)　実演・講習会 9

ア　くみひも作り体験

イ　手作り真綿の実演と講習会

ウ　スカーフ染め体験

(4)　講座・講演会 10

ア　連続講座「白き糸の物語　～天の虫がつなぐ歴史・人・まち～」

イ　常設展示ギャラリートーク

(5)　夏の個人向け蚕種配布 11

(6)　博物館実習生の受入れ 11

(7)　連携事業 11

ア　全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン「カイコを育てよう！2024」

イ　ミュージアム・ミッション 2024

ウ　シルキークリスマス

エ　横浜輸出スカーフ展示「私の、推しスカ」

オ　蚕糸月間連携事業

(8)　資料活用 13

ア　購入
イ　寄贈
ウ　特別利用
エ　収蔵品の修復
(9)　刊行物 15
(10) 研修・視察 15
(11) レファレンス 15
(12) 後援・協力 16
ア　後援等
イ　他機関への協力
(13) 職員の派遣 17
(14) 執筆 18
(15) 広　報 18
ア　春の企画展
イ　秋の特別展
ウ　チャレンジ！かいこプログラム
エ　講座
オ　ワークショップ、実演
カ　常設展、基本情報
キ　その他
(16) その他 20
ア　キャッシュレス決済機の導入
イ　オリジナル商品の追加生産・新規開発
**5 資料** 22
(1)　組織と職員 22
(2)　事業費 22
(3)　所蔵資料 22
(4)　入館者状況 23
(5)　過去の特別展・企画展一覧 24

# １ ごあいさつ

シルク博物館は昭和 34（1959）年 3 月 12 日、横浜開港 100 年記念事業として建設されたシルクセンタービル内に開設され、今年で 66 周年を迎えました。開館以来、当館は絹に関する知識の普及と伝承、絹製品の需要促進、国際貿易及び観光の振興等に寄与するとともに、魅力ある博物館として特別展・企画展等の充実や、蚕やシルクの理解促進のための教育普及事業等に取り組んでまいりました。

令和 6 年度は、春・秋の展覧会をはじめ、絹や蚕に関するワークショップ、学校教育と連携した教育普及活動に加えて、各関連団体や他施設との連携事業など、多種多様な事業を展開することができました。また、地域のあらたな魅力の創出に寄与するため、地域で開催されるイベントへの参加や、近隣の博物館や教育機関とのタイアップにも積極的に取り組みました。

さらに、ご利用者の皆様の利便性を向上するために、令和 6 年 6 月より入館料等でキャッシュレス決済を導入しました。これらの取り組みのもと、特に春と秋のシーズンには諸外国からの観光客をはじめ、多くの方にご来館いただくことができました。

これからもシルクに特化した博物館として、その活動をさらに充実させるよう努めてまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和 7 年 6 月
シルク博物館

## ２ 建物の概要

【博物館】

展示面積（2 階）　798.00 ㎡（241.39 坪）※受付前、ミュージアムショップを含む
（3 階）　558.03 ㎡（168.80 坪）
イベントホール　212.72 ㎡（64.35 坪）
第一収蔵庫　21.76 ㎡（6.58 坪）
第二収蔵庫　46.24 ㎡（13.99 坪）
映写室　24.48 ㎡（7.41 坪）
準備室　62.62 ㎡（18.94 坪）
図書室　67.80 ㎡（20.51 坪）

**改装**　昭和 44（1969）年（開館 10 周年記念）
平成 11（1999）年（開館 40 周年記念）
平成 24（2012）年（開館 53 周年記念）

【シルクセンター】

所在地　神奈川県横浜市中区山下町 1 番地
構造　地下 2 階、地上 10 階、塔屋 3 階
建築面積　3,853.53 ㎡(1167.7 坪)
延床面積　25,332.02 ㎡(7,676.3 坪)
設計監理　坂倉準三建築研究所
施工　鹿島建設株式会社
経過　起工　昭和 32（1957）年 11 月
竣工　昭和 33（1958）年 11 月（一部）、昭和 34（1959）年 3 月 12 日（全館竣工）
開館　昭和 34（1959）年 3 月 12 日

## ３　令和 6 年度のおもな出来事

春の企画展　シルク博物館所蔵品展「花嫁衣装―晴れの日の模様と彩り―」の開催
秋の特別展　「型が奏でるリズムと色彩―型絵染 8 人展」の開催
令和 6 年 6 月より入館料等のキャッシュレス決済を導入

# 4　事業

## (1)　展示

### ア　常設展示

年間を通して蚕の生体展示と操糸器の動態展示を行い、繭やシルクの科学、絹製品ができる過程、衣食住にかかわる絹製品、蚕糸業の歴史、重要無形文化財保持者をはじめとした現代作家の着物、アジアを中心とした民族衣装、蚕織錦絵など、シルクに関するさまざまな収蔵品を、適宜展示替えしながら紹介した。今年度は上階の展示ゾーンを見直し、世界の民族衣装展示の充実を図った。日本の復元時代風俗衣装人形は、平安時代2体、江戸時代2体の着装替えを実施した。また、上階展示ケース内のスポットライトをすべて調光器付きLEDに更新した。

### イ　春の企画展

**シルク博物館所蔵品展「花嫁衣装―晴れの日の模様と彩り―」**

本展では、当館の所蔵する江戸時代後期から昭和時代の花嫁衣装を中心に、祝儀に用いる掛袱紗や吉祥模様が表された子どもの着物など44点を展示し、19世紀から1970年代までの花嫁衣装の移り変わりと、時代ごとにみられる模様・色彩といった特色を紹介した。期間中は、来館者に解説を記した無料リーフレットを配布し、見どころを紹介するギャラリートークも開催した。

【会期】令和6年4月27日（土）～6月2日（日）　32日間

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県／横浜市にぎわいスポーツ文化局／神奈川新聞社／ｔｖｋ／NHK横浜放送局／横浜繊維振興会

【展示内容】

・江戸時代後期の小袖（振袖「白綸子地貝桶に貝覆い模様染繍」ほか）
・大正時代の着物（留袖「黒縮緬地鳳凰に菊桐模様染繍」ほか）
・昭和時代の着物、帯（丸帯「黄縦筋斜子地薬玉模様刺繍」ほか）
・江戸時代後期・明治時代の掛袱紗（「納戸繻子地松竹梅鶴亀の丸文刺繍」ほか）
・江戸時代後期・明治時代の文献および絵画資料（『婚礼仕用畳栗袋』ほか）

【写真】

ポスター

掛袱紗「鉄地日の丸に牡丹菊鶴亀模様綴織」

会場展示風景

【入館者数】　（単位：人）

| 区分 | 正規料金 | | | 割引料金 | | | 無料※ | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 一般 | シニア<br>大学生 | 高校生以下 | 一般 | シニア<br>大学生 | 高校生以下 | | |
| 日本人 | 757 | 445 | 309 | 67 | 153 | 487 | 1,042 | 3,260 |
| 外国人 | 98 | 82 | 5 | 0 | 0 | 0 | 38 | 223 |
| 計 | 855 | 527 | 314 | 67 | 153 | 487 | 1,080 | 3,483 |

※「無料」：招待券、優待券など無料入館者

### ウ　秋の特別展

### 「型が奏でるリズムと色彩―型絵染８人展」

「型絵染」は型紙を用いて布を染める技法のひとつで、1956 年に芹沢銈介が人間国宝に認定された際、はじめてこの名称が用いられた。型絵染は、作家が図案作成から型紙彫り、染め、仮縫いまでを一貫して行うことに特徴があり、作家の個性が反映され、デザイン性や絵画性に富む作品が多く見られる。

本展では、型絵染の染織作家８名を招き、着物・帯・壁掛けなど約 50 点の作品のほか、制作工程を垣間見ることのできる型紙やスケッチ、道具などを展示し、美しい型絵染の世界を堪能していただいた。

【会期】令和６年 10 月 12 日（土）～ 11 月 24 日（日）（開催期間 38 日間）

【主催】シルク博物館

【協賛】一般財団法人 繊貿会館

【後援】神奈川県／横浜市にぎわいスポーツ文化局／神奈川新聞社／tvk／NHK 横浜放送局／東京織物卸商業組合／横浜繊維振興会

【展示内容】

・岩井香楠子、遠藤あけみ、釜我敏子、小島貞二、斎藤孝子、佐藤百合子、篠原優子、溝口あけみ、各作家による作品

・特別出品　芹沢銈介／鎌倉芳太郎／伊砂利彦／篠原晃代

【図録】　『型が奏でるリズムと色彩－型絵染８人展』　Ａ4 判　48 頁

【関連事業】　作家によるギャラリートーク　10/19、10/27、11/2、11/3、11/9、11/17、11/23
計７回　参加者合計 210 名

【写真】

会場展示風景

作家によるギャラリートーク

【入館者数】　（単位：人）

| 区分 | 正規料金 | | | | 割引料金 | | | | 無料※ | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 一般 | シニア | 大学生 | 高校生以下 | 一般 | シニア | 大学生 | 高校生以下 | | |
| 日本人 | 721 | 477 | 68 | 171 | 160 | 257 | 20 | 978 | 1,158 | 4,010 |
| 外国人 | 102 | 76 | 6 | 6 | 0 | 0 | 0 | 155 | 112 | 457 |
| 計 | 823 | 553 | 74 | 177 | 160 | 257 | 20 | 1,133 | 1,270 | 4,467 |

※「無料」：招待券、優待券など無料入館者

## (2)　教育普及

### 『チャレンジ！かいこプログラム』

引き続き、蚕種配布・かいこ教室・たのしいかいこの発表会等の事業や通年開催のワークショップ・学校利用等、当館の子ども向け教育普及事業を「チャレンジ！かいこプログラム」と総称して推進した。

### ア　第１弾　蚕種配布

蚕の飼育を通してシルクに興味を持っていただくことを目的とし、横浜市内を含めた神奈川県内全域の小学校等に蚕種の有償配布を実施した。なお、指導者用資料として蚕種配布者全員に「蚕の飼育マニュアル」を配布するとともに、教員を対象とした蚕についての講座も開講した。

【配布日】令和６年５月 16 日(木)～5 月 18 日(土)　（3 日間）

【配布件数】154 件（うち横浜市立小学校 58 件、県内公立小学校 10 件、その他 86 件）

【配布数】蚕種：330 袋（１袋約 450 粒入)、人工飼料：179 本

【関連企画】

| 企画名 | 実施日 | 回数 | 講師 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| かいこについての講座 | 5/16(木)～18(土) | ５回 | 当館職員 | 80 人 |

### イ　第２弾　かいこ教室

シルクを生み出す「かいこ」について、子どもたちにより一層興味・関心を持っていただくため、夏休み期間を利用して展示や体験を通して、蚕の成長過程・種類、繭や生糸の特徴等について楽しく学ぶかいこ教室を開催した。

【会期】令和６年７月 27 日(土)～ ８月 11 日(日)（計 14 日間）

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県教育委員会／横浜市教育委員会／神奈川新聞社／tvk／NHK 横浜放送局／一般財団法人日本真綿協会

【展示】めずらしいかいこの展示および人気投票、前年度めずらしいかいこの展示の人気投票結果、まゆるんと学ぼう！「かいこ」ってどんな生き物？（蚕の生態に関する解説パネル）、みんなで作ろう！桑の木パネル

【体験】映画「かいこ」の上映、かいこの観察会、まゆ人形作り、生糸のランプシェード作り、まわたのスタンド作りとシルク博物館の見学ツアー

（平日）

| 体験内容 | 参加者 |
|---|---|
| 映画「かいこ」の上映 | 198 人 |
| かいこの観察会 | 220 人 |
| まゆ人形作り | 226 人 |
| 生糸のランプシェード作り | 228 人 |

※各体験は１日２回、各回定員 20 名で開講し１日で全ての体験に参加できるプログラムとした。
※「まゆ人形」「生糸のランプシェード」は有料（参加費各 200 円）。

（土日・祝日）

| 体験内容 | 参加者 |
|---|---|
| まわたスタンド作りとシルク博物館の見学ツアー | 116 人 |

※１日３回、各回定員８名で開講した。

【写真】

かいこの観察会

まゆ人形作り

生糸のランプシェード作り

まわたのスタンド作り

【入館者数】　（単位：人）

| 区分 | 正規料金 | | | 割引料金 | | | 無料※ | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 一般 | シニア<br>大学生 | 高校生以下 | 一般 | シニア<br>大学生 | 高校生以下 | | |
| 日本人 | 527 | 78 | 455 | 19 | 9 | 9 | 221 | 1,318 |
| 外国人 | 34 | 19 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 59 |
| 計 | 561 | 97 | 458 | 19 | 9 | 9 | 224 | 1,377 |

※「無料」：招待券、優待券など無料入館者

### ウ　第3弾　団体利用・ワークショップ

#### a　団体利用

団体見学のなかでも学校利用が大きな割合を占める当館では、説明や映写、ワークシートの利用を含めた見学を通して、蚕について知識を深めるとともに、蚕が生み出す「シルク」の学習へとつなげられるよう、見学内容の充実を図った。また、学校やクラスによって学習したい内容が異なるため、事前に担当教員との打ち合わせを行った。

【団体利用数】 82校　うち小学校は50校（横浜市立校32校）

【利用者数】 4,141人　うち小学生は3,398人（横浜市立2481人）

#### b　子ども向けワークショップ

蚕や繭の特徴等について、子どもたちが楽しく学べるよう、当館オリジナルキャラクター「まゆるん」のまゆ人形作り、真綿を利用したあひる人形作り及び、生きている蚕を観察しながら学ぶかいことシルクの勉強会を開催した。

【開催日等】

| 企画名 | 実施日（各土曜日） | 回数 | 講師 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| まゆ人形作り | 4/20、5/11、6/8、8/24、9/21、10/5、11/9、3/22 | 8回 | 当館職員 | 17人 |
| まわた人形「あひるの親子」作り | 5/4、5/25、6/29、10/26、2/22 | 5回 | 当館職員 | 19人 |
| かいことシルクの勉強会 | 6/1、6/22、8/31、9/28、11/2、1/25、3/1 | 7回 | 当館職員 | 60人 |

### エ　第４弾　たのしいかいこの発表会

「チャレンジ！かいこプログラム」の集大成として、子どもたちが飼育した蚕の観察記録、繭や生糸を使った作品を募集し、蚕について学んだ成果等を発表する機会として開催した。なお、12月 15 日(日)には表彰式を実施した。

【会期】令和 6 年 12 月 10 日(火)～令和 7 年 1 月 19 日(日)（開催期間 29 日間）

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県教育委員会／横浜市教育委員会／神奈川新聞社／tvk／NHK 横浜放送局

【展示】出品作品の展示(出品団体数 32 件、制作者総数 872 名、出品数 357 点)

【関連企画】

| 企画名 | 実施日 | 回数 | 講師 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| 生糸のランプシェード作り<br>クリスマスバージョン | 11/23(土)、12/7(土) | 2回 | 当館職員 | 8 人 |
| まわたの天使作り | 11/30(土)、12/14(土) | 2回 | 当館職員 | ２人 |
| たのしいかいこの発表会　表彰式 | 12/17(日) | 1回 | | 164 人 |

【写真】

展示の様子

表彰式

表彰式 集合写真 第一部

表彰式 集合写真 第二部

【入館者数】同時開催のシルキークリスマスの入館者数を含む　　（単位：人）

| 区分 | 正規料金 | | | 割引料金 | | | 無料※ | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 一般 | シニア<br>大学生 | 高校生以下 | 一般 | シニア<br>大学生 | 高校生以下 | | |
| 日本人 | 268 | 119 | 23 | 17 | 39 | 0 | 1,575 | 2,041 |
| 外国人 | 43 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | 69 |
| 計 | 311 | 131 | 23 | 17 | 39 | 0 | 1,589 | 2,110 |

※「無料」：期間中の小・中、招待券、優待券利用、及び無料入館日(12 月 15 日(日))の入館者

## (3) 実演・講習会

### ア くみひも作り体験

鎧や刀などに使われ、現在でも帯締めや懐中時計の紐など様々に活用されている「くみひも」をより身近に感じていただくため、くみひもストラップ作りの体験を実施した。

【開催日等】

| 企画名 | 実施日（各土曜日） | 回数 | 講師 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| くみひもストラップ作り | 4/2、6/15、7/13、10/19、12/21、1/18、 3/29 | 7回 | 当館職員 | 26 人 |

### イ 手作り真綿の実演と講習会

真綿作りの伝統的な技術を次の世代に伝えるため真綿に関する実演や講習会を開催した。

【後援】一般財団法人日本真綿協会

【講習会開催日等】

| 企画名 | 実施日 | 回数 | 講師 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| 手作り真綿の講習会 | 7/6(土)、7/7(日) | 2 回 | 室伏藍 | 8 人 |
| 手紬糸作り講習会 | 10/20(日)、 11/24(日) | 2 回 | 永田順子 | 12 人 |

【実演開催日等】

| 企画名 | 実施日 | 回数 | 講師 |
|---|---|---|---|
| 手作り真綿の実演 | 4/13、7/20、8/17、9/7、10/12、11/16、2/15、3/15（各土曜日） | 8 回 | 室伏藍 |
| 手紬糸作り実演 | 5/12、9/8、2/23 （各日曜日） | 3 回 | 永田順子 |

### ウ スカーフ染め体験

シルクスカーフに親しんでいただくため、シルクハンカチにビー玉やゴムを使って簡単な絞り模様をほどこし、草木染め染料による染色体験を実施した。

【開催日等】

| 企画名 | 実施日 | 回数 | 講師 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| スカーフ染め体験<br>（成人向け） | 10/6(日・祝) | 1回 | 佐藤のり子 | 4 人 |
| 小さなシルクハンカチ染め体験<br>（子ども向け） | 10/13(日)、14(月・祝)、<br>1/12(日)、13(月・祝) | 4回 | 佐藤のり子 | 20 人 |

## (4) 講座・講演会

### ア 連続講座「白き糸の物語 ～天の虫がつなぐ歴史・人・まち～」

現在の日本や横浜の姿は、「蚕」という昆虫が懸命に作り出した繭を利用することからはじまり、そしてその繭からより良い糸を取りだすためにおこなわれた技術の開発や、それに従事した人々の熱意や尽力の上にあるといえる。そうした先人たちによって造られた数多くの建造物は度重なる自然災害や太平洋戦争の戦禍を乗り越え、現在も日本各地に遺されている。

この講座では、映画「シルク時空(とき)をこえて」の上映にはじまり、開国から現在に至るまでの日本の近代化、横浜の発展を根底から支えた蚕糸業やその技術の発展、また現在日本の各地に遺る建造物等の遺産群について、専門家を講師に招き全 3 回にわたり様々な側面から考察した。

【開催日等】

| 講座名 | 実施日 | 講師 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| 映画「シルク時空をこえて」上映および解説 | 1/11(土) | 熊谷友幸 氏<br>（朝の学舎制作委員会 監督・撮影） | 31 人 |
| 「日本の近代化を支えた蚕糸業とそれに従事した工女さんたち」 | 2/8(土) | 髙林千幸 氏<br>（岡谷蚕糸博物館 館長） | 27 人 |
| 「シルクが結ぶまちと文化」 | 3/15(土) | 米山淳一 氏<br>（横浜歴史資産調査会 常務理事） | 26 人 |

※全 3 回すべてに出席できることを条件とし、定員 40 名のところ 34 名からの申込があった。

### イ 常設展示ギャラリートーク

常設展示に沿って案内しながら、蚕や絹、染織品など多彩な話題を学芸員が来館者へわかりやすく解説した。

【開催日等】

| 内容 | 実施日 | 回数 | 講師 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| 手描き友禅の制作工程 | 4/6(土) | 1回 | 石鍋由美子 | 3 人 |
| 時代と装い―絹服飾と社会― | 9/14(土) | 1回 | 石渡桃子 | 3 人 |
| 蚕の生態について | 2/1(土) | 1回 | 佐野遊海 | 10 人 |

### (5) 夏の個人向け蚕種配布

昨年度までに続き、『チャレンジ！かいこプログラム』第 1 弾の小学校等に向けた蚕種配布とは別に、かいこを育ててみたい方からのご要望にお応えし、個人向けの蚕種配布を行った。

【配布日】令和 6 年 7 月 19 日（金）～21 日（日）（3 日間）

【配布件数】84 件

【配布数】蚕種：94 袋（1袋約 20～100 粒入）

### (6) 博物館実習生の受入れ

学芸員養成に協力するとともに当博物館を広く周知し、絹に対する理解と関心を深めていただくため、講義と普及活動の実践（蚕の飼育も含む）による受入れを行った。実習では蚕の飼育、桑葉の収穫、展示パネル作成、夏の子ども向け企画「かいこ教室」において指導役として普及活動の実践等を行った。実習中に学んだことを来館者に自ら説明することで、絹に関わる産業、歴史、文化への興味関心を深めていただく機会とした。

【実習期間】令和 6 年7月 24 日(水)～ 8 月 12 日(月・振替休日)(3 班に分け実施)

【受入校】 駒澤女子大学、昭和音楽大学、日本女子大学、女子美術大学、武蔵野美術大学、千葉大学、日本大学、東洋英和女学院大学、駒澤大学、専修大学 各1人、計 10 人

### (7) 連携事業

#### ア 全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン「カイコを育てよう！2024」

令和4年度から始まった、一般財団法人大日本蚕糸会が中心となり、各地の蚕糸関係博物館等が協力し合って実行委員会を立ち上げ、各館が開催する「かいこの飼育体験」等の催事を通じて、蚕糸業の現状を知ってもらうとともに、これからの蚕糸業を考えてもらうための取り組みに参加した。

【当館対象事業】夏の個人向け蚕種配布

令和 6 年7月 18 日（金）～20 日（日）（3 日間）

【主催】「カイコを育てよう！2024」実行委員会／一般財団法人大日本蚕糸会

【参加施設】群馬県立日本絹の里／野外博物館 北海道開拓の村／駒ヶ根シルクミュージアム／岡谷蚕糸博物館／西予市野村シルク博物館／ジャパンシルクセンター（大日本蚕糸会）／シルク博物館

#### イ ミュージアム・ミッション 2024

神奈川県立歴史博物館が中心となり、関内・山手・みなとみらい地区の博物館園が連携して実施する「ミュージアム・ミッション」に参加した。この事業は、夏休みの子ども向けイベントの一つで、近隣に多くの館園があることと、その活動を知っていただくことを目的としてしている。

【期間】 令和 6 年 7 月 20 日（土）～9 月 1 日（日）

【内容】 参加者はミュージアムマップを持って参加館園をまわり、それぞれのミッションに挑戦する。ミッションを達成した館園の数に応じてオリジナルグッズなど特典がもらえる。シルク博物館では常設展ワークシートをミッションとした。

### ウ シルキークリスマス

多くの方々にシルク博物館に来ていただき、楽しくシルクへの理解と関心を深めていただくことを目的として、12 月 15 日(日)を「シルキークリスマス」としてクリスマスイベントを実施した。当日は入館無料とし、午前中、「たのしいかいこの発表会」表彰式を開催し、午後は横浜市民広間演奏会によるクリスマスコンサート(クラシック・ヨコハマ 2024)を実施して賑わった。また、シルクミュージアムショップの協力により、シルクフェア(スカーフやネクタイ等のワゴン販売)も実施した。

【日時】令和 6 年 12 月 15(日)

【主催】シルク博物館

【協力】クラシック・ヨコハマ 2024／横浜市民広間演奏会／
横浜シルクミュージアムショップアソシエイション

【入館者】(無料入館日) 総入館者数 306 人

| プログラム名 | 出演者等 | 観覧者 |
|---|---|---|
| クラシック・ヨコハマ 2024<br>ミュージアムコンサート(事前予約制) | 横浜市民広間演奏会 | 52 人 |

【写真】

コンサートの様子

### エ 横浜輸出スカーフ展示

**「私の、推しスカ」**

令和 4 年度からシルク博物館と横浜市歴史博物館、関東学院大学の三者で「横浜スカーフ・アーカイブの保存と活用に関する覚書」を締結し、連携事業を実施している。その一環としてシルク博物館において横浜輸出スカーフの小規模な企画展示を開催した。

【実施日】令和 6 年 11 月 30 日(土)～令和 7 年 1 月 13 日(月・祝)

【主催】シルク博物館

【共催】横浜市歴史博物館　関東学院大学

【企画・監修】 KGU 横浜スカーフ研究プロジェクト（代表：山﨑稔惠）

【写真】

横浜スカーフ展示風景

案内ハガキ
（KGU 横浜スカーフ研究プロジェクト作成）

### オ　蚕糸月間連携事業

新たに蚕糸の日（3月14日※）が制定されたことを受け、一般財団法人大日本蚕糸会が推進する蚕糸月間の連携事業に参加した。当館では、蚕糸月間である3月中に実施するワークショップ「かいことシルクの勉強会」「まゆ人形作り」「くみひもストラップ作り」と「手作り真綿」の実演会を連携事業と位置付けた。

【参加施設】 北海道開拓の村／日本絹の里／岡谷蚕糸博物館／駒ヶ根シルクミュージアム／
西予市野村シルク博物館

※昭憲皇太后が宮中養蚕を開始した明治4年の第一回掃き立て日に由来。我が国の養蚕・絹の歴史についての広報や、国産絹製品のプロモーションを実施すること等を通じて、養蚕の振興、絹の伝統文化の継承を推進する目的で制定された。

## （8）資料活用

### ア　購入　無し

### イ　寄贈　3件　3点

| 資　料　名 | 点数 | 寄　贈　者 |
|---|---|---|
| 伊砂利彦作　型絵染着物「朝」 | 1領 | 渡邊ルリ子氏 |
| 伊砂新雄作　型絵染着物「花野」 | 1領 | 伊砂新雄氏 |
| 黒留袖 | 1領 | 楢原陽子氏 |

### ウ 特別利用 10 件 16 点

| 資 料 名 | 点数 | 特別利用内容／掲載誌等 | 利用者 | 掲載日等 |
|---|---|---|---|---|
| 錦絵「無題」九 繭を真綿に製るの図 | 1 点 | 「川和縞について」(『民具マンスリー』令和 6 年 5 月号)にて図版利用 | 高橋典子 | 5/10 |
| 「大正 11 年度横浜生糸入荷番付」(図録掲載画像) | 1 点 | 令和 6 年度茅ケ崎ゆかりの人物館 前期展示「茅ケ崎純水館物語～糸もつくるが人もつくる」展示等での図版利用 | 茅ケ崎市 | 4/27～9/29 |
| 蚕種配布受付及び展示風景 | 1 式 | 学校内の研究発表のため | 和光鶴川小学校 | |
| 生糸商標「大日本碓氷社」 | 1 枚 | 『インセンティブの経済学―殖産興業から学ぶ経済学入門』横山和輝 著 参考図版として掲載 | 新世社 | 10/10 |
| 蚕種(錦秋×鐘和) | 100 粒 | 蚕の生体展示 | 愛川繊維会館 | 10/1 |
| 座繰器 | 1 件 | 高等学校地理歴史科 日本史副教材『最新日本史図表』図版掲載 | 第一学習社 | |
| 生糸商標「群馬県前橋 市村社」 | 1 点 | グッズ(陶器)製作・販売 | 三美堂 | |
| ハンカチ(日の丸に桜)／夜着「緑縮緬地梅松模様染抜摺匹田」 | 2 点 | 『衣の民俗事典(仮)』内論考「横浜とハンカチ」「模様に託された祈り」にて図版利用 | 高橋典子 | |
| アジアの民族衣装<br>(ウズベキスタン、インド(2 種)、カンボジア、ベトナム、ブータン) | 6 点 | 企画展示「生糸ってなに？」展(2025 年 3/20～5 月)にてパネル展示のための図版利用 | 富岡製糸場 | 2/5 |
| 『大日本蚕糸会報』大正 12 年4月号(375 号)口絵 | 1 点 | 「純水館茅ケ崎製糸所と小山房全(3)―書簡から読み解く純水館と小山家・工藤家」(『茅ケ崎市博物館研究紀要2』茅ケ崎市教育委員会発行)掲載のための図版利用 | 名取龍彦 | 3/19 |

### エ 収蔵品の修復

当館所蔵の蚕織錦絵のうち 11 作品(34 枚)の欠損部分補修、裏打ちなどを実施した。

## (9) 刊行物

・特別展図録『型が奏でるリズムと色彩－型絵染 8 人展』A4　48 頁　令和 6 年 10 月刊行

・「2024.10－2025.3　催しものご案内」A3 四つ折り　令和 6 年 9 月発行

・「2025.4－9　催しものご案内」 A3 四つ折り　令和 7 年 3 月発行

## (10)研修・視察

| 内　容 | 研修・視察先 | 日付 | 氏名 |
|---|---|---|---|
| 「第 58 回日本伝統工芸染織展」視察 | 日本橋三越本店 | 5/10(金) | 石渡桃子 |
| 全国館長会議 | 文部科学省 | 7/3(水) | 高橋典子 |
| 海老名市社家清水家の資料視察 | 海老名市・社家 | 7/4(木) | 佐野遊海<br>石渡桃子 |
| 県博協第3回研修会「展示リニューアルを経てより魅力ある展示の実現に向けた横浜みなと博物館の試み」 | 横浜みなと博物館 | 10/1(火) | 石鍋由美子 |
| 新登録制度の審査・登録に係る意見交換会 | 日本博物館協会(オンライン) | 10/23(水) | 高橋典子 |
| 博物館新登録制度:疑問や課題の解決相談会 | 日本博物館協会(オンライン) | 2/18(火) | 高橋典子 |

## (11)レファレンス

蚕を飼育する学校、個人からの問い合わせのほかに報道機関からのシルクに関する問い合わせなどが多数あった。

| 分　類 | 主 な 内 容 |
|---|---|
| 蚕の飼育に関して | 飼育方法(ふ化から繭作りまでの各過程) |
| | 繭の活用方法(糸くり、繭人形、染色、真綿作り) |
| | 蚕の入手方法 |
| | 人工飼料の入手方法 |
| | エサ(桑葉)の確保 |
| 蚕糸業に関して | 製糸会社について |
| | 繭袋(紙製)について |
| | 製糸の道具、蚕具について |

## (12)後援・協力

### ア 後援等

| 後援内容 | 事 業 名 | 主 催 | 期 間 | 事業内容 |
|---|---|---|---|---|
| 後援名義使用 | 2024 横浜ファッションウィーク | 横浜ファッションウィーク実行委員会 | 4/27(土)～5/6(月・祝) | 横浜市内のファッション産業の振興と生活文化産業の発展を目指し、横浜の代表的な地場産業「横浜スカーフ」の振興としてスカーフアレンジ教室など各種ワークショップ、スカーフの展示即売などが開催された。 |
| | 横濱コクーン・スクウェア 2024 | 横濱コクーン・スクウェア実行委員会 | 10/4(金)・5(土) | 横浜と絹のつながりを歴史・文化・教育など多方面からアプローチし、絹文化の啓蒙や伝統の継承および絹関連商品を展開することにより、横浜及び絹産業の活性化に資することを目的にパネルディスカッションや各地の生産者のブース出展などがあった。 |
| | 「絹が生まれる場所―絹と人のこれまでとこれから―」展 | 床下土風 | 2/14(金)～2/26(水) | 養蚕と製糸の歴史と現状を群馬県の事例から伝え国産絹の理解と興味を喚起し国産絹の活性化を図ることを目的にパネル展示等がされた。 |

### イ 他機関への協力

| 協力内容 | 事 業 名 | 主 催 | 期 間 | 備 考 |
|---|---|---|---|---|
| 「ハマフェスパスポート」を提示した者に団体料金を適用 | ハマフェス Y165『ハマフェスパスポート』企画 | ハマフェス実行委員会 | 5/11(土)～6/30(日) | 期間中の団体料金入館者数 1,405 人のうち 18 人が利用 |
| 中学 2 年生の企業訪問受け入れ | 総合的学習(キャリア教育) | 横浜国立大学教育学部付属横浜中学校 | 10/2(水) | 生徒 10 名・引率 1 名<br>財団事務局及び博物館を案内 |
| 福引の景品として招待券(10 枚 10 名分)の提供 | 第 50 回筑波大学学園祭「雙峰祭」 | 筑波大学学園祭実行委員会 | 11/3(日・祝)・4(月・振) | 筑波キャンパス<br>来場者:35,000 人 |
| ビンゴ大会景品として招待券(10 枚 10 名分)の提供 | フェリスフェスティバル 2024 | フェリス女学院大学大学祭実行委員会 | 11/3(日・祝)・4(月・振) | 緑園都市キャンパス<br>来場者:4,137 人 |
| 「横浜春節クーポン」を提示した者に団体割引を適用 | 横浜春節祭 2024 | 横浜春節祭実行委員会 | 1/15(水)～3/31(月) | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| チラシによるクーポン券の配布 | かながわシルクフェア | かながわシルクフェア実行委員会 | 3/11(火)～17(月)<br>7日間(予定) | クーポン券1枚持参につき、大人2名まで入館無料 |

## (13)職員の派遣

| 協力内容 | 事 業 名 | 主 催 | 期 間 | 備 考 |
|---|---|---|---|---|
| 神奈川県博物館協会役員として高橋館長を派遣 | 神奈川県博物館協会役員会 | 神奈川県博物館協会 | 5/10(金)、<br>11/1(金)、<br>2/28(金) | |
| 川崎市立日本民家園専門部会へ委員として高橋館長を派遣 | 川崎市社会教育委員会議日本民家園専門部会 | 川崎市立日本民家園 | 5/26(日)、<br>7/21(日)、<br>12/19(木)<br>3/16(日) | |
| 横浜市教育委員会へ文化財審議員として高橋館長を派遣 | 横浜市文化財審議会<br>横浜市無形民俗文化財検討会 | 横浜市教育委員会 | 6/26(水)<br>8/23(金)<br>10/23(水)、<br>12/20(金) | |
| 江東区教育委員会へ文化財審議員として高橋館長を派遣 | 江東区文化財審議会 | 江東区教育委員会 | 5/23(木)<br>7/29(月)、<br>9/12(木)、<br>11/21(木)、<br>2/6(木)<br>3/6(木) | |
| 小田原市郷土文化館協議会委員として高橋館長を派遣 | 小田原市郷土文化館協議会 | 小田原市教育委員会小田原市郷土文化館 | 2/5(水) | |
| 「カイコを知ろう」教室へ講師として石鍋学芸課長を派遣 | 教室「カイコを知ろう」 | 大和市郷土民家園 | 7/15(月・祝) | |
| 中学校社会科研修講師として高橋館長を派遣 | 中学校社会科研修会 | 横浜市教育委員会 | 7/31(水) | |
| 川崎市民アカデミー講師として高橋館長を派遣 | 講座「川崎学」 | NPO法人かわさき市民アカデミー | 7/31(水) | |
| 鎌倉市玉縄学習センターへ講師として佐野学芸員を派遣 | 鎌倉市生涯学習センター講座 | 鎌倉市生涯学習推進委員会 | 11/17(日) | |

## (14)執筆

| 題名 | 掲載先 | 掲載日 | 執筆者 |
|---|---|---|---|
| 「横浜輸出スカーフ展示とアーカイブ資料の活用」 | シルクロード・ネットワーク白川郷フォーラム | 令和 7 年 3 月 17 日 | 高橋典子 |
| 「岡谷蚕糸博物館開館60周年に寄せて」 | 岡谷蚕糸博物館紀要 | 令和 7 年 3 月 31 日 | 高橋典子 |

## (15)広報

当館の特別展や基本情報等について、各種媒体に働きかけた。今年度、掲載された先は次のとおり。公式 X(旧ツイッター)は4日に1回のペースで更新中。

### ア 春の企画展 シルク博物館所蔵品展 「花嫁衣装―晴れの日の模様と彩り―」

| 区分 | 媒 体 名 | 備 考 |
|---|---|---|
| 新聞 | 朝日新聞(4 月 16 日夕刊) | |
| 新聞 | 毎日新聞(5 月 15 日) | |
| 新聞 | 東京新聞(4 月 29 日) | 地域の情報 |
| 新聞 | 神奈川新聞(5 月 20 日) | |
| 業界紙 | 染織新報(5 月 16 日) | |
| 業界紙 | 繊維ニュース(5 月 7 日) | |
| 情報紙 | 横浜画廊散歩(4・5 月号) | |
| 機関誌 | 博物館研究(4 月号) | |
| 機関誌 | 商工季報(春号) | |
| 機関誌 | シルクレポート(4 月号) | |
| 機関誌 | シルクレポート(7 月号) | 開催報告 |
| タブロイド紙 | 定年時代(5 月 7 日)横浜川崎版 | |
| Web | ヨコハマアートナビ | |
| Web | きものタイムズ | |
| Web | きものっく | |
| Web | ピーティックス | |

### イ 秋の特別展 「型が奏でるリズムと色彩―型絵染8人展」

| 区分 | 媒 体 名 | 備 考 |
|---|---|---|
| 新聞 | 神奈川新聞(11 月 18 日) | |
| 新聞 | 東京新聞(10 月 7 日) | 地域の情報 |
| 新聞 | 朝日新聞かながわマリオン(11 月 13 日) | 地域の情報 |

| | | |
|---|---|---|
| 新聞 | 読売新聞(11 月 1 日) | 地域の情報 |
| 業界紙 | 染織新報(10 月 26 日) | |
| 情報紙 | 横浜画廊散歩(10・11 月号) | |
| 情報紙 | 江ノ電沿線新聞(10 月号) | |
| タブロイド紙 | 定年時代(11 月 5 日)横浜川崎版 | |
| 機関誌 | 商工季報(秋号) | |
| 機関紙 | 博物館研究(10 月・11 月号) | |
| 機関誌 | シルクレポート(10 月号) | イベント情報 |
| 機関誌 | シルクレポート(1 月号) | 開催報告 |
| 業界紙 | 美しいキモノ秋号 | インフォメーション欄 |
| 業界紙 | きもの Salon 2024-25 秋冬 号 | インフォメーション欄 |
| Web | きものタイムズ | |
| Web | きものっく | |
| Web | ヨコハマ・アートナビ | |
| Web | ピーティックス | |
| Web | ハマイベ | |

### ウ チャレンジ！かいこプログラム

#### (ア)「かいこ教室」

| 区分 | 媒 体 名 | 備 考 |
|---|---|---|
| 新聞 | 東京新聞(7 月 20 日) | |
| 新聞 | 毎日新聞(7 月 25 日) | |
| 新聞 | 神奈川新聞(7 月 25 日) | 地域の情報 |
| 機関誌 | シルクレポート(7 月号) | |
| 機関誌 | シルクレポート(10 月号) | 開催報告 |

#### (イ)「たのしいかいこの発表会」

| 区分 | 媒 体 名 | 備 考 |
|---|---|---|
| 新聞 | 東京新聞(12 月 16 日) | |
| 新聞 | 神奈川新聞(1 月 9 日) | 地域の情報 |
| 機関誌 | シルクレポート(4 月号) | 開催報告 |
| Web | いこーよ | |
| Web | ヨコハマアートナビ | |
| Web | ピーティックス | |

エ 講座 「白き糸の物語 ～天の虫がつなぐ歴史・人・まち～」

| 区分 | 媒 体 名 | 備 考 |
|---|---|---|
| 新聞 | 東京新聞(12 月 16 日) | |
| タブロイド紙 | 定年時代(1 月 6 日)横浜川崎版 | |

オ ワークショップ、実演

| 区分 | 媒 体 名 | 備 考 |
|---|---|---|
| 機関誌 | 博物館研究 4 月～3 月号 | |

カ 常設展、基本情報

| 区分 | 媒 体 名 | 備 考 |
|---|---|---|
| テレビ | J:COM『かながわを語ろう～Town loves you～』 | |
| 情報誌 | エイコープリント『サラダ劇団』 | |
| 新聞 | 上毛新聞(8 月 24 日) | |
| 書籍 | 『首都圏から行く個性派ミュージアム案内』 | |
| Web | 観光かながわNOW(神奈川県観光協会) | |
| Web | るるぶKids | |
| Web | いこーよ | |
| Web | NAVITIME | |
| Web | インフォメーションテクノロジー関西 | |
| Web | ヨコハマ・ギャラリー・マップ | |
| 業界紙 | 美術年鑑社「美術年鑑」 | |

キ その他

| 区分 | 媒 体 名 | 備 考 |
|---|---|---|
| 新聞 | 東京新聞(12 月 16 日) | 横浜輸出スカーフ展示 |
| 業界紙 | 繊維ニュース(12 月 18 日) | 横浜輸出スカーフ展示 |
| 雑誌 | 月刊「清流」2025 年 3 月号 | 第二特集「世界に誇る！ ジャパンシルクと横浜生まれのスカーフ」 |

(16) その他

ア キャッシュレス決済機の導入

6 月 11 日(火)より受付にキャッシュレス機を導入し、入館料をはじめ物販、ワークショップ等の支払いに活用(まゆ人形キットなど一部対象外あり)。来館者の利便性の向上に寄与している。手数

料は1回の決済につき 3.24%(入館料 500 円の場合は 16 円)が差し引かれる。

### イ オリジナル商品の追加生産・新規開発

オリジナル商品　従来のまゆるんの豆知識(売値 500 円)が在庫払底したため、追加生産を機に内容を一部追加・刷新し販売価格を 700 円として、令和 6 年 4 月 16 日に発売した。

また新規開発品として、これまでになかったグッズとしてマスキングテープを製作した。近年、文房具として定着した感のあるマスキングテープを当館のキャラクターである「まゆるん」を活用し、子どもも手に取りやすいデザインと価格帯で商品化した。1.5 センチ×5 メートル巻、500 個(販売用 470 個)、販売価格 400 円。 令和 7 年 1 月 11 日発売。

# 5　資料

## (1) 組織と職員

【組織図】

一般財団法人シルクセンター国際貿易観光会館
専務理事 ― 事務局長
　　|
（シルク博物館）
　　博物館部次長(館長)(1) ― 学芸課長(1)
　　主査(1)　学芸員(2)
　　非常勤(1)　臨時職員(4)　※( )内は人員数

【委嘱者氏名】 名誉館長　マリ　クリスティーヌ

【職員氏名】

| | |
|---|---|
| 館長(学芸員) | 高橋　典子 |
| 学芸課長(学芸員) | 石鍋　由美子 |
| 主査 | 前田　恵美子 |
| 学芸員 | 佐野　遊海 |
| 学芸員(嘱託職員) | 石渡　桃子 |
| 事務職員(非常勤嘱託職員) | 中山　春子 |

## (2) 事業費

（単位:円）

| 費　目 | 内　　容 | 令和6年度 |
|---|---|---|
| 博物館事業費 | | 7,408,381 |
| (内訳) | | |
| 普及事業費 | 常設展示費・特別展開催等 | 5,499,134 |
| 資料整備費 | 資料補修費・図書資料等収集費等 | 501,610 |
| 広報事業費 | 広告掲載費・広告資料作成費等 | 948,160 |
| 運営管理費 | 運営委員会開催費・損害保険料 | 459,477 |

## (3) 所蔵資料 ※1

（単位:点）

| 資　料　名 | 前年度末の累計 | 令和6年度 | | | 本年度末の累計 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 収集・寄贈 | 購入 | 寄贈 | 登録替 | |
| 資　　料 | 6,939 | 0 | 3 | 57 | 6,999 |
| 図　　書 | 6,767 | 7 | 11 | 1,948 | (※2) 8,733 |
| 計 | 13,706 | 7 | 14 | 2,005 | 15,732 |

※1 映像記録(DVD・フィルム)、貴重写真は所蔵資料の中に加算。
※2 神奈川県蚕業センターより移管された図書・文献のうち登録が完了した冊数を加えた。

## (4) 入館者状況

（単位:人）

| 区 分 | 個 人 | | | 割引料金 ※2 | | | 無料 | 合 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 一般 | ｼﾆｱ･大 | 高校生以下 | 一般 | ｼﾆｱ･大 | 高校生以下 | ※3 | |
| 4 月<br>【 21 日】 | 315<br>(90) | 194<br>(85) | 63<br>(6) | 4<br>(0) | 11<br>(0) | 0<br>(0) | 311<br>(40) | 898<br>(221) |
| 5 月<br>【 27 日】 | 649<br>(84) | 420<br>(36) | 296<br>(5) | 57<br>(0) | 139<br>(0) | 487<br>(0) | 902<br>(27) | 2,950<br>(152) |
| 6 月<br>【 22 日】 | 524<br>(68) | 156<br>(27) | 318<br>(15) | 43<br>(0) | 30<br>(0) | 731<br>(0) | 486<br>(48) | 2,288<br>(158) |
| 7 月<br>【 26 日】 | 517<br>(65) | 125<br>(43) | 266<br>(9) | 10<br>(0) | 12<br>(0) | 19<br>(0) | 538<br>(25) | 1,487<br>(142) |
| 8 月<br>【 26 日】 | 718<br>(60) | 133<br>(31) | 435<br>(10) | 18<br>(0) | 42<br>(0) | 6<br>(0) | 357<br>(9) | 1,709<br>(110) |
| 9 月<br>【 25 日】 | 380<br>(73) | 161<br>(80) | 113<br>(0) | 16<br>(0) | 21<br>(0) | 602<br>(0) | 396<br>(27) | 1,689<br>(180) |
| 10 月<br>【 23 日】 | 438<br>(74) | 348<br>(84) | 105<br>(7) | 82<br>(0) | 96<br>(0) | 360<br>(0) | 614<br>(36) | 2,043<br>(201) |
| 11 月<br>【 22 日】 | 514<br>(49) | 347<br>(21) | 90<br>(2) | 90<br>(0) | 185<br>(0) | 937<br>(155) | 803<br>(88) | 2,966<br>(315) |
| 12 月<br>【 22 日】 | 261<br>(42) | 105<br>(11) | 30<br>(0) | 14<br>(0) | 22<br>(0) | 132<br>(0) | 1,084<br>(14) | 1,648<br>(67) |
| 1 月<br>【 23 日】 | 250<br>(33) | 85<br>(9) | 92<br>(3) | 21<br>(0) | 56<br>(0) | 142<br>(9) | 740<br>(14) | 1,386<br>(68) |
| 2 月<br>【23 日】 | 340<br>(41) | 118<br>(10) | 133<br>(2) | 14<br>(0) | 13<br>(0) | 196<br>(0) | 338<br>(9) | 1,206<br>(62) |
| 3 月<br>【26 日】 | 429<br>(94) | 239<br>(95) | 98<br>(3) | 42<br>(20) | 27<br>(0) | 82<br>(39) | 494<br>(37) | 1,411<br>(288) |
| 計<br>【286 日】 | **5,335** | **2,431** | **2,039** | **411** | **654** | **3,694** | **7,117** | **21,681** |

※ 【 】: 開館日数、( ) : 外国人の人数を内書き

※2 「割引料金」: 各種割引による入館者

※3 「無料」: 招待券、優待券等による無料入館者

## (5) 過去の特別展・企画展一覧

| 年 度 | 特　別　展　等 |
|---|---|
| 1959(昭和 34) | シルクセンター竣工記念全国輸出振興展 |
| | 特別展『蚕織錦絵展』 |
| 1960(昭和 35) | 特別展『近世日本衣装名品展』 |
| 1961(昭和 36) | 特別展『近代染織名作展』 |
| 1962(昭和 37) | 特別展『日本伝統染織工芸展』 |
| 1964(昭和 39) | 特別展『オリンピック東京大会記念シルクフェアー』 |
| 1965(昭和 40) | 特別展『能装束展』 |
| 1966(昭和 41) | 「第 8 回米国貿易見本市出品絹製品展示会」 |
| | 特別展『伝統染織作品と紅染資料展』 |
| 1967(昭和 42) | 特別展『紋と繍の美展』 |
| 1968(昭和 43) | 特別展 開館 10 周年記念『シルク博物館所蔵品展』 |
| 1969(昭和 44) | 特別展『江戸時代能装束展』 |
| 1970(昭和 45) | 特別展『花のきものと髪かざり展』 |
| | 特別展『第 1 回シルク博物館染織作品展』 |
| 1971(昭和 46) | 特別展『第 2 回シルク博物館染織作品展』 |
| 1972(昭和 47) | 特別展『第 3 回シルク博物館染織作品展』 |
| 1973(昭和 48) | 特別展『第 4 回シルク博物館染織作品展』 |
| 1974(昭和 49) | 特別展『第 5 回シルク博物館染織作品展』 |
| 1976(昭和 51) | 特別展『ヨコハマのスカーフ展』 |
| 1977(昭和 52) | 特別展『世界の民族衣装展』 |
| 1978(昭和 53) | 特別展『人間国宝による「絹の伝統染織名作展」』 |
| 1979(昭和 54) | 特別展『横浜絹の祭典と染織新作展』 |
| 1980(昭和 55) | 特別展『思い出のきもの展』 |
| 1981(昭和 56) | 特別展『草木染展と染織新作展』 |
| 1982(昭和 57) | 特別展『洋装のあゆみとニューファッション展』 |
| 1983(昭和 58) | 特別展『ふるさとの絹展と第 8 回染織作品展』 |
| | 企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| 1984(昭和 59) | 特別展『花嫁衣装展』 |
| | 特別展『江戸期から現代までの「江戸小紋展」』 |
| | 企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『郷土かながわの染織作品展』 |
| 1985(昭和 60) | 特別展『日本人形の細工物展』 |
| | 企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『フランス絹織物栄光とその先達「リヨン織物美術館秘蔵品展」』 |
| 1986(昭和 61) | 特別展『ヨコハマのスカーフ展』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『関東の絹展と第 9 回染織作品展』 |
| 1987(昭和 62) | 特別展『レースの美展』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『ファッションデザイナーによる'87 ニューウェーブきもの展』 |
| 1988(昭和 63) | 特別展『ふろしきの今昔展』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『'88 ニューシルク展と第 10 回染織作品展』 |
| 1989(平成元) | 特別展『シルク博物館所蔵名品展』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『華麗なる絹の世界へ「絹の文化展」～江戸と現代～』 |
| 1990(平成 2) | 特別展『「日本の紬展」～紬のふる里を訪ねて～』 |

| | |
|---|---|
| 1990(平成 2) | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『シルクまつり'90 と第 11 回染織作品展』 |
| 1991(平成 3) | 特別展『館蔵「蚕織錦絵展」～錦絵にみる時代風俗と衣装～』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『～桂由美コレクション～「世界の民族花嫁衣装展」』 |
| 1992(平成 4) | 特別展『館蔵「染織名品展」』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『シルクフェア'92 と第 12 回染織作品展』 |
| 1993(平成 5) | 特別展『館蔵「江戸小袖展」』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『「絹と化粧まわし展」～戦後横綱の化粧まわしによる～』 |
| 1994(平成 6) | 特別展『館蔵「江戸古裂展」』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『シルクフェスタ'94 と第 13 回染織作品展』 |
| 1995(平成 7) | 特別展『～繍の美～「甦る足柄刺繍展」』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『「思い出のきもの展」－PARTⅡ－ ～昭和・平成の衣裳作品から～』 |
| 1996(平成 8) | 特別展『～日本人の贈りもの～「掛袱紗展」』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『シルクフェア'96 と第 14 回染織作品展』 |
| 1997(平成 9) | 特別展『アヅマカブキの舞踊衣装展』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『～手織りの芸術美～「ラオスの伝統織物展」』 |
| 1998(平成 10) | 特別展『カイコの道具展とシルクフェア'98』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『第 15 回染織作品展と秋のシルクフェア』 |
| 1999(平成 11) | 特別展『文化の伝承－江戸から現代へ「華麗なる能装束の美」展』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『染めの美織りの美 ～人間国宝作家作品を中心として～』 |
| 2000(平成 12) | 特別展『沖縄の伝統染織展』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『第 16 回全国染織作品展』 |
| 2001(平成 13) | 特別展『人生をかけた荒井照太郎の手描友禅その美』 |
| | 企画展『「熊田千佳穂の昆虫記録展」と親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『ブータンの民族衣装とシルクフェア』 |
| 2002(平成 14) | 特別展『中村光哉友禅染色の詩展』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『第 17 回全国染織作品展とシルクフェア』 |
| 2003(平成 15) | 特別展『糸目友禅の巧み「人間国宝 山田貢展」』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『市田ひろみコレクション「世界の民族衣装展」』 |
| 2004(平成 16) | 特別展『自然をいつくしむ手描友禅「人間国宝 田島比呂子展」』 |
| | 企画展『親と子の「歌舞伎人形とかいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『第 18 回全国染織作品展』 |
| 2005(平成 17) | 特別展『世界のふろしき展』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『今に伝えるつむぎの魅力』 |
| 2006(平成 18) | 特別展『「人間国宝 細見華岳展」－綴織に心を込めて－』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |

| | |
|---|---|
| 2006(平成 18) | 特別展『第 19 回全国染織作品展』 |
| 2007(平成 19) | 特別展『インド サリーの世界』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『旧山辺知行コレクション「インドの染織展」』 |
| 2008(平成 20) | 特別展『アロハ・デザイン展』 |
| | 特別展『ラオス女性が伝える手織りの世界』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『第 20 回全国染織作品展』 |
| 2009(平成 21) | 特別展『佐賀錦のみやびな世界「人間国宝 古賀フミ展」』 |
| | 特別展『開館 50 周年記念「ヨコハマ開港とシルク展」』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『鈴木一コレクション「古渡り更紗と名物裂展」』 |
| 2010(平成 22) | 特別展『ペルシャシルク絨毯の世界』 |
| | 特別展『華麗なる能装束「稔りの季」』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『第 21 回全国染織作品展』 |
| 2011(平成 23) | 特別展『「三浦景生展」－ヨコハマ染陶暦程－』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『－平山郁夫シルクロード美術館コレクション－ |
| | 「豊饒なる色彩―ウズベキスタンの布と器」 |
| 2012(平成 24) | 特別展『「美しい日本の絹」ユミ カツラブライダルコレクション』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| 2013(平成 25) | 特別展『群馬県立日本絹の里との提携記念 |
| | 「夢を紡いだシルク」－「蚕の国」群馬と「シルクの街」ヨコハマ－』 |
| | 企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』 |
| | 特別展『－美しい日本の絹－「友禅」』 |
| 2014(平成 26) | 企画展『世界に羽ばたいたスカーフたち』 |
| | 企画『親と子のかいこの自然科学教室』 |
| | 特別展『第 23 回全国染織作品展』 |
| 2015(平成 27) | 企画『親と子のかいこの自然科学教室』 |
| | 特別展『今に生きる 江戸小紋 ～小宮家四代の作品を中心に～』 |
| 2016(平成 28) | 企画展『キモノの美－人間国宝田島比呂子の友禅－』 |
| | 特別展『第 24 回全国染織作品展』 |
| 2017(平成 29) | 企画展『ふくらむ はずむ まじわる シルクの輝きを知る～織りの美～』 |
| | 特別展『横浜・生糸ものがたりⅠ 〝かいこ〟と暮らす－かながわ養蚕録－』 |
| 2018(平成 30) | 企画展『江戸の粋とデザイン―小袖コレクションから』 |
| | 特別展『第 25 回全国染織作品展』 |
| 2019(平成 31・令和元) | 企画展 開館 60 周年記念所蔵名品展<br>「シルクのシンフォニー ～染と刺繍のかがやき～」 |
| | 特別展 開館 60 周年記念 横浜・生糸ものがたりⅡ<br>「白き糸の調べ―かながわの製糸・撚糸―」 |
| 2020(令和 2) | (新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止) |
| 2021(令和 3) | 企画展『描かれた養蚕 ―蚕織錦絵の世界―』 |
| | 特別展『第 26 回全国染織作品展』 |
| 2022(令和 4) | 企画展『紬のきもの』 |
| | 特別展 『「横浜・生糸」ものがたりⅢ 横浜から世界へ ―海を渡った生糸―』 |
| 2023(令和 5) | 企画展『絹を彩る鳥たち』 |
| | 特別展『第 27 回全国染織作品展』 |
| 2024(令和 6) | 企画展『花嫁衣装―晴れの日の模様と彩り―』 |
| | 特別展『型が奏でるリズムと色彩－型絵染 8 人展』 |

シルク博物館令和６年度年報

令和７年6月10日
編集・発行　シルク博物館

〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町１番地
℡045－641－0841